

京都検定講演会講師による‘よもやま話’。京都検定を通じて、京都の魅力を再発見しましょう。

第21回 京都検定 2級公開テーマ「京の国宝～美術工芸品～」

ストーリー仕立てで楽しく覚えよう！

【講師】
塩原 直美
京都観光
アドバイザー



第21回京都・観光文化検定試験の申込が8月19日(金)よりスタートしました！今回の2級の公開テーマは「京の国宝～美術工芸品～」。国宝の美術工芸品とは、建造物以外を指し、主に彫刻、絵画にはじまり陶磁器、書跡などなど。範囲が広いと思われるかもしれませんが、公式テキストから該当する国宝を丁寧にかつ慎重にピックアップすることがポイントです。そして作品名、作者、所蔵先を“ストーリー仕立て”で覚える、そんな工夫も大事です。その例を挙げてみます。

学校の教科書にも必ず掲載されている建仁寺所蔵の「風神雷神図屏風」

から、関連する国宝を考えてみましょう！描いた人物は俵屋宗達。宗達は三十三間堂(蓮華王院)の「風神・雷神像」や北野天満宮の「北野天神縁起絵巻・承久本」の描写を参考にしたとも言われています。この彫刻と絵巻もともに国宝。では、宗達との名コンビである芸術プロデューサーの本阿弥光悦が残した国宝といえば…？「白楽茶碗銘 不二山」と「舟橋蒔絵硯箱」ですが、光悦2作品の所蔵は残念ながら京都ではない…、という一つの流れで5作品を覚えることができます。

宗達作の国宝では「蓮池水禽図」を京都国立博物館が所蔵。京都国立博物館

には水墨画の大家である雪舟が80歳を過ぎてから描いたとされる「天橋立図」も所蔵されています。そして、「天橋立図」に描き込まれている^{この}籠神社には、日本最古の家系図「海部氏系図」が伝わります。雪舟は国宝作品が最も多い絵師ですが、実は京都に所蔵されているのはこの「天橋立図」だけです。

このように公式テキストから国宝である美術工芸品を拾い上げ、自分の覚えやすいストーリーにまとめてみてはいかがでしょうか？！

過去問に挑戦！

京都にははかにも国宝がたくさん！

現存する日本最古の曼荼羅図「高雄曼荼羅」をはじめ、薬師如来立像や五大虚空蔵菩薩坐像(いずれも国宝)がある寺院はどこか。

- ア 神護寺 イ 高山寺 ウ 東寺 エ 仁和寺

第19回 京都・観光文化検定試験 2級より 全翼社 監修

第21回 京都検定受験(個人・団体)申込受付中！

第21回京都検定(12月11日施行)の受験申込を受付中です。

今回も、団体受験制度を利用してお申込みをいただいた3級受験者上位3名の合計得点上位8位までのグループを表彰する「G-1グランプリ」を実施します。また10名以上で団体受験をお申込みいただきますと、受験料が2割引になります。ぜひ、同僚や家族、ご友人の皆様でお申し込みください！

申込期間 [個人] ~10月27日(木) [団体] ~10月12日(水)

京都検定
HPは
こちら



※京都検定では「公開テーマ」に関する問題が各級10問出題されます。

※「京都・観光文化検定試験®」、「京都検定®」およびそのロゴマークは、京都商工会議所の商標です。無断で使用することはできません。